

事業所名 通所支援事業所 チェリタン (児童発達支援)

公表日 年月日 2025年3月31日

利用児童数 年月日 2025年3月31日現在 8名 回収数 7名分

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7名	0名	0名	0名		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7名	0名	0名	0名		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7名	0名	0名	0名		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7名	0名	0名	0名		
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	7名	0名	0名	0名		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7名	0名	0名	0名		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	7名	0名	0名	0名		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7名	0名	0名	0名		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	7名	0名	0名	0名		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	7名	0名	0名	0名		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6名	0名	1名	0名		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7名	0名	0名	0名		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7名	0名	0名	0名		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6名	1名	0名	0名		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	7名	0名	0名	0名		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7名	0名	0名	0名		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7名	0名	0名	0名		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	3名	4名	0名	0名		
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6名	1名	0名	0名			

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7名	0名	0名	0名		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5名	1名	0名	1名		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7名	0名	0名	0名		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6名	0名	0名	1名		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4名	2名	0名	1名		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6名	0名	0名	1名		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6名	0名	0名	1名	・経験がないため。	
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	7名	0名	0名	0名		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7名	0名	0名	0名		
	29	事業所の支援に満足していますか。	7名	0名	0名	0名		

事業所名 通所支援事業所 チェリタン (放課後等デイサービス)

公表日 年月日 2025年3月31日

利用児童数 年月日 2025年3月31日現在36名

回収数 17名分

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14名	1名	0名	2名	・放デイになると、子ども達の車椅子等も大きくなり、スペースには手狭なように思えるが活動内容にもよるし職員の方が全体を見渡せて安全にも思える。	・お迎え時等で、室内の様子をご覧いただく機会を作らせていただきます。 ・車椅子を置く場所を一方所にせず、室内の敷か所に分散し、活動スペースの確保を致します。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	14名	0名	0名	3名		
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15名	0名	0名	2名		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17名	0名	0名	0名		
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	16名	1名	0名	0名	・お迎えの時に、子どもの事を理解し詳しくご報告いただき安心してます。	
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16名	0名	0名	1名		
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17名	0名	0名	0名		
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17名	0名	0名	0名		
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17名	0名	0名	0名		
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15名	0名	0名	2名		
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4名	3名	3名	7名		
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16名	0名	0名	1名		
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17名	0名	0名	0名		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	8名	4名	2名	3名	・病状の事や子どもの仕事など親でも気づかない事を伝えていただきとても満足しています。 ・イベントなどの開催は難しいが、子どもの状況や関わり方の様子を退院時に伝えてくれるので家でも「こうしてみよう」とやる事ができている。	
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17名	0名	0名	0名	・病状の事や子どもの仕事など親でも気づかない事を伝えていただきとても満足しています。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17名	0名	0名	0名		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17名	0名	0名	0名		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	2名	6名	5名	4名		
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16名	1名	0名	0名		

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17名	0名	0名	0名		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8名	3名	2名	4名	・私自身が見ていないので。	・ホームページに自己評価の結果等を公開している旨のお知らせを入り口に掲示致しますのでご覧下さい。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	16名	0名	0名	1名		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	15名	1名	0名	1名		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16名	0名	0名	1名		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	16名	1名	0名	0名		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16名	0名	0名	1名		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16名	0名	0名	1名		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	16名	0名	0名	1名		
	29	事業所の支援に満足していますか。	16名	1名	0名	0名	・あまり活動内容の話にならない為、分かりません。 ・とても満足しています。	・送迎時に利用中の様子や参加した活動等をお伝えさせていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 通所支援事業所 チェリタン (児童発達支援)

公表日 2025年3月31日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9人	0人		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8人	1人		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9人	0人		温度の調整が難しく、室内にカビがある。(同様意見2人)
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6人	3人		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8人	1人	相談室を利用し、利用児のクールダウンの場としている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4人	5人		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8人	1人		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8人	1人		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1人	8人		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9人	0人		
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3人	6人		現在作成中であり、年度内に公表予定。(同様意見2人)
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9人	0人		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9人	0人		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7人	2人		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5人	4人		
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9人	0人		
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7人	2人		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8人	1人	季節の行事や活動を取り入れるようにしている。	

適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8人	1人		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6人	3人		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3人	6人	申し送り時に行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9人	0人		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9人	0人		
	24	児童発達支援ガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	7人	2人		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8人	1人		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8人	1人		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9人	0人		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。				
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。				
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2人	7人		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6人	3人	院内保育園や入所児者との行事などを通して交流をしている。（同様意見1人）	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9人	0人	固定した職員のみが参加するのではなく、テーマに合わせてそれぞれが参加できるようにしている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9人	0人		
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3人	6人		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8人	1人		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9人	0人		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9人	0人		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9人	0人		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6人	3人		保護者参観は行っているが、兄弟児はできていない。(同様意見1人)
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8人	1人		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8人	1人	月1回、お便りを発行している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9人	0人		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9人	0人		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0人	9人		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7人	2人		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9人	0人		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9人	0人		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9人	0人		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7人	2人		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4人	5人		分からない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8人	1人		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9人	0人		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8人	1人			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 通所支援事業所 チェリタン（放課後等デイサービス）

公表日 2025年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8人	1人		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7人	2人		男性職員が少ない。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8人	1人		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6人	3人		湿度の調整が難しく、室内にカビがある。 (同様意見3人)
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8人	1人		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4人	5人		分からない。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8人	1人		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6人	3人		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1人	8人		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8人	1人		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	1人	8人		現在作成中であり、年度内に公表予定。 (同様意見3人)
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8人	1人		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8人	1人		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6人	3人		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3人	6人		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7人	2人		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7人	2人		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6人	3人		



適切な支援の提供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7人	2人		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7人	2人		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	2人	7人	次の日の申し送りで行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8人	1人		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9人	0人		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7人	2人		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7人	2人		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9人	0人		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9人	0人		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7人	2人		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4人	5人	水戸特別支援学校との連携は行っている。	実績なし。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5人	4人	相談支援専門員を通して情報提供を行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3人	6人		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	0人	9人		感染症対策の面で自粛していたが、緩和していきたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	8人	1人		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9人	0人		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2人	7人			
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8人	1人	担当者が実施している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9人	0人		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9人	0人		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8人	1人		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0人	9人		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8人	1人		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	4人	5人	長期休暇中にお便り等で活動内容や行事等をお伝えしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8人	1人		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9人	0人		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1人	8人		感染対策の観点より、難しい状況である。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7人	2人		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8人	1人		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9人	0人		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9人	0人		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7人	2人		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4人	5人		分からない。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8人	1人		報告、共有を更に徹底し、検討を増やす。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9人	0人		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9人	0人			

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	障害児通所支援事業所 チェリタン			
○保護者評価実施期間	2025年1月24日		～	2025年2月10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	44名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	2025年2月12日		～	2025年2月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月28日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者のお迎え時、特にお子様へ関わった職種の職員が普段と違う様子や細かな発達の変化などを報告し共有する事で、保護者の不安や困り事の聞き取りしやすい環境を作り、安心感と信頼感に繋げている。 (児童発達支援・放課後等デイサービス共通)	<ul style="list-style-type: none"> <li>お迎え時には、保育士や看護師がお子様の利用中の様子や体調面で気になった事などを丁寧にお伝えをする。</li> <li>水戸特別支援学校や相談支援専門員と必要に応じて迅速に連絡を取り合い、お子様の様子等について情報の共有を図っている。</li> </ul>	引き続き、お子様の様子などを保護者様に丁寧にお伝えしていくと共に、お子様を取り巻く関係機関と連携を図り、様子などについて情報の共有、相互理解に努め、地域移行などの必要な支援を提供していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援及び放課後等デイサービスを利用しているお子様の兄弟児同士の交流の機会が少ない。 (児童発達支援・放課後等デイサービス共通)	コロナウイルス感染症等の影響もあり、兄弟児が参加できるようなイベントの計画が出来ていない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者を対象に「どのような事をしたいか」などをモニタリング時や送迎時にお聞きし、ニーズを把握していく。</li> <li>・感染症対策を講じた上で、兄弟児同士が交流を図れるようなイベントを計画、実施していきたい。(夏祭りや家族参加型外出行事等)</li> </ul>
2	放課後でのご利用ゆえ、集団での活動を計画するも実施が出来ない状況がある。 (放課後等デイサービス)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用時のお子様の体調面などを考慮し、休息の時間として対応をしている事がある。</li> <li>・1つのスペースで活動する事が多い為、他のお子様の様子(緊張の程度や発作後の休息など)を配慮し、集団での活動から個別活動に切り替える事がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎朝の職員ミーティング時に本日の予定(活動内容)を報告し、職員間で活動が行えるよう、業務調整や環境調整などを行っていく。</li> <li>・公共施設や機関などと連携し、地域との繋がりを深めながら、お子様同士が交流を図れるような行事や活動を計画していく。</li> </ul>
3	経年劣化により、事業所内外のメンテナンスが必要な箇所がある。 (児童発達支援・放課後等デイサービス共通)	事業所が築10年を超えた事により、湿気や日照、温度等により経年劣化が認められる。	関係部署に現状報告した上で、補修や修繕を計画的に実施していく。